

白神ぶなの森基金

自然保護団体に贈呈

秋田市のモリタグループ

かばん専門店のモリタグループ（秋田市、盛田良次社長）は23日、白神山地でブナの新林や自然保護活動を行う青森市のNPO法人「白神山地を



永井代表に目録を手渡す盛田社長（左）

守る会」（永井雄人代表）に50万9255円を贈った。

秋田市山王のモリタ本社で贈呈式が行われ、盛田社長が永井代表に目録を手渡した。永井代表は「大事に使わせていただき、環境保全に努めていきたい」と述べた。

モリタグループは白神山地の自然保護活動を支援しようと、2003年度に「白神ぶなの森基金」の贈呈を開始。県内外58店舗に設置した募金箱に集まった金額に、同じ額を加えて贈ってきた。今年も贈呈10回目を記念し募金額の4倍を上乗せした。

白神山地を守る会は、受け取った基金を草刈り機、鎌などの購入費や、白神山地の世界遺産登録20周年を記念した展覧会事業の経費に充てる。

（千葉園子）